

市商連ニュース

令和5年9月1日 No.108

一般社団法人 川崎市商店街連合会

<https://k-shouren.jp/>

☎044-548-4107

川崎市経済労働局との意見交換の実施報告

7月25日（水）に、市経済労働局の幹部職員（観光・地域活力推進部 浜口部長、池田課長、御簾納課長）と市商連役員（持田副会長、石渡理事、伊藤理事、鈴木理事）が、商店街振興等について意見交換を行いました。

<川崎市の商店街振興の考え方及び市商連の存続について>

川崎市の商店街振興の考え方は、

- ・商店街において魅力ある店舗の創業を支援し、その魅力ある店舗を集積して、活力ある商業地域を形成したいと考えている。
- ・商店街のイベントや賑わいの支援強化よりも、魅力ある個店形成を支援して、店のリピーターになってもらって、商店街振興を図るための支援を強化していくとのこと。

また、市商連の存続については、補助金の増額は難しいが、市としては、市商連の役割り・機能を再認識して、市商連が実施する事業に対しての支援する方法が良いと考えている。市としても今後、市商連の役割り等について研究する必要があると回答しています。

※以上の回答のように、川崎市は商店街振興よりも個店への支援を強化していく方向性です。

<補助金について>

市商連から、

- ・他都市と比較しても川崎市の商店街関係補助金の限度額や補助率が低く、事業が実施できない商店街が多い。
- ・商店街においては、新しい補助金を使ったイベントや事業など、そんな簡単に新しい事業のアイデアやマンパワーもなく難しいのが現状であること。
- ・新しい補助制度・商業施策についても、商店街の意見が反映されていないため、使いにくい。会員商店街の補助金申請書類の簡素化などの意見を述べました。



※市商連は、商店街への補助金が改善されるよう、継続して川崎市に要望を行います。

<商業振興施策について>

市商連から、

- ・商業振興施策を作成するにあたり、商店街の意見を反映してほしい。
- ・振興施策の作成段階から、商業者や商店街の意見を取り入れて進め、川崎市の商業施策を計画する段階で、そのイメージを市商連とも共有してほしい。
- ・補助制度について、商店街の意見を聞いてほしい。特に新しい制度については、特に意見を聞くことを求めました。
- ・さらに、市商連は、商業者全体の利益を求めて川崎市にも協力して活動している団体であり、その存在意義を考慮してほしい。と要望しました。

川崎市からは、早い段階から市商連の意見を聞く必要はあると考える。今後の市総合計画の改定時において、これまでの成果に基づいて意見を聞く場を設けることも必要だと考えている。

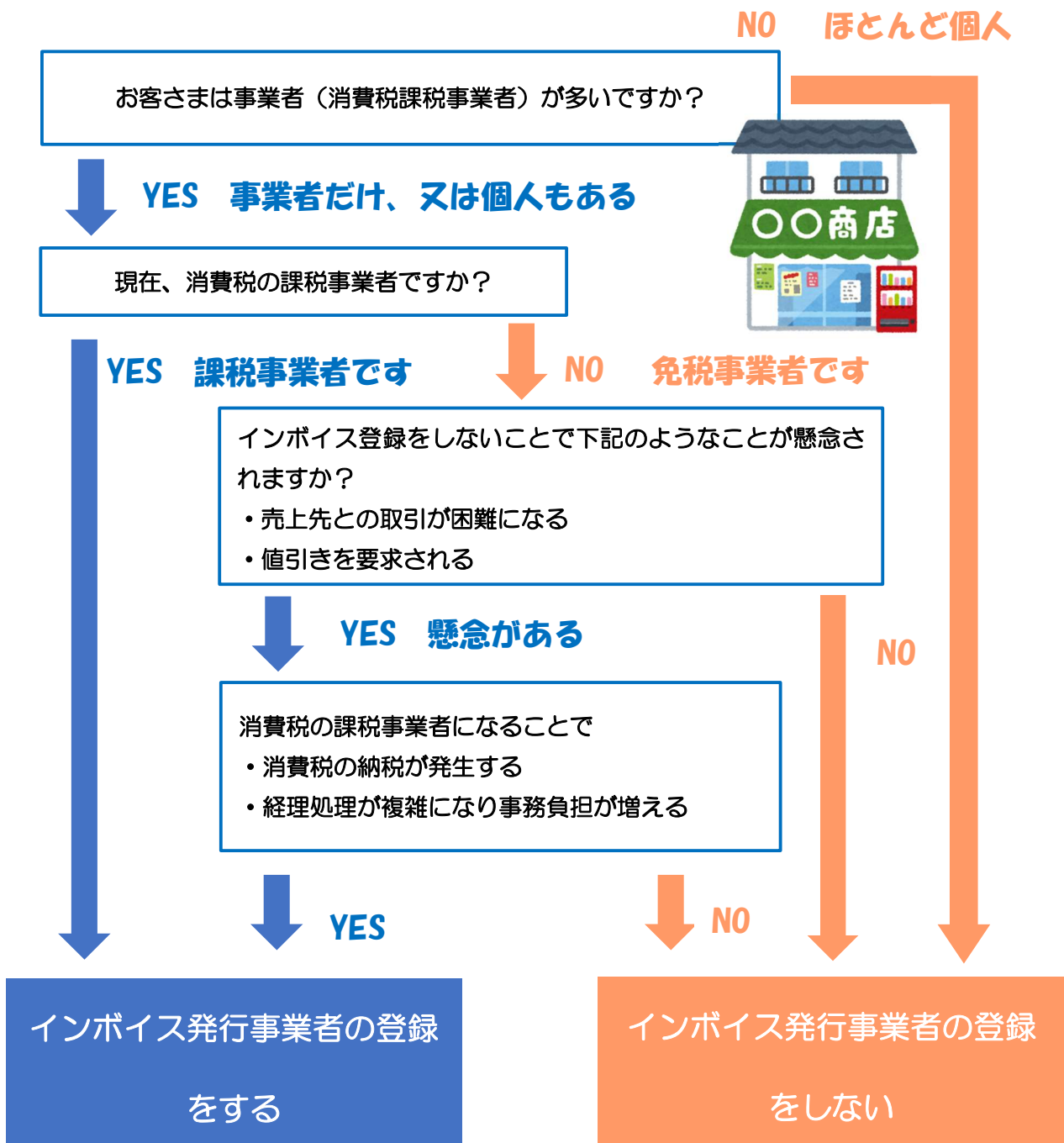
※市商連は、商業施策に商業者・商店街の意見が反映されるよう継続して要望してまいります。

インボイス登録する？ しない？

簡易判定フローチャート



令和5年10月1日から消費税のインボイス制度が始まります。
どうすれば良いのかお悩みの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。
登録すべきか否か迷っている方は、下記のフローチャートを参考にしてください。



※このフローチャートは簡易ツールですので、登録については自社の業績や取引先の状況を踏まえて検討する必要があります。